

箕面公園昆虫館 <http://www.mino-konchu.jp>
〒562-0002 大阪府箕面市箕面公園1-18
TEL.072-721-7967

—
vol.18 TAKE FREE

箕面公園で昆虫たちと遊ぼう

箕面公園

昆虫館

だより

Minokoen Konchukan

Vol.18

秋
冬も昆虫観察
し
て
み
よ
う

チャバネセセリ
(セセリチョウ科)

Pelopidas mathias

6月から11月ごろまで成虫がみられますが、夏の終わりから秋にかけてたくさんみられるようになります。幼虫は主にススキやチガヤなどのイネ科植物を食べて育ちます。

箕面公園 2020年10月24日 中峰館長撮影

special [特集]

知れば知るほど、おもしろい

「むしのかたち・うごきのしくみ展」

report

亜熱帯の放蝶園&冬越しする昆虫図鑑

「冬の昆虫館の楽しみ方」

よく見てみよう、虫のかたちとうごきのしくみ

小学校で学習する虫のからだのつくり。意外とむずかしいですよ。

むしのかたち・うごきのしくみ展

どうして虫はいろんな形をしているのだろう？
その答えが見つかるかも！

箕面公園昆虫館
中峰 空 館長

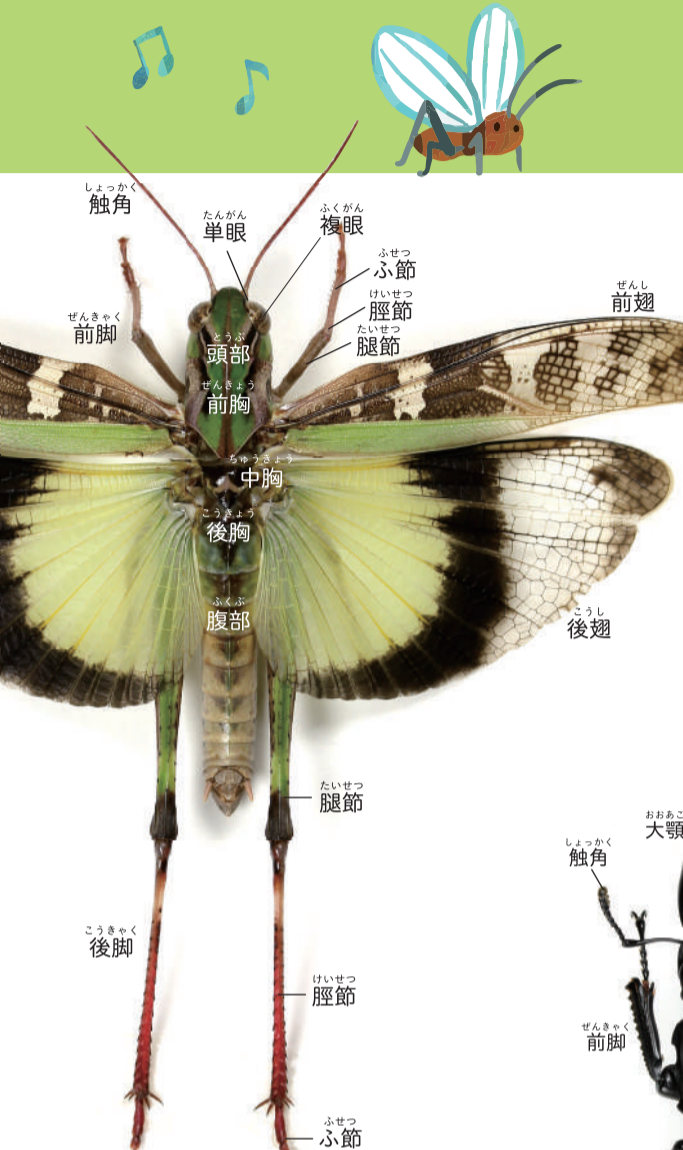


外骨格だから
形と機能の多様性がすごい！

昆虫の体のつくりは、小学校3年生の理科で学習することになっています。この「頭・胸・腹」と脚と翅の位置関係は全ての昆虫に共通する特徴ですが、たくさん昆虫を見比べると、それぞれの部位やつくりを見分けやすい昆虫は意外と少ないことに気がつきます。

今回の企画展では、初心に帰って昆虫の体のつくりを一通り眺めてから、ある機能に特化した形態を見ていきます。例えば、獲物を捕まえるために前脚が捕獲脚になった昆虫と例えばカマキリが有名ですが、カマキリモドキやカマバエ、ミスカマキリなど多様な分類群で同じ機能を持つ形態が進化しました。他にも砂地で穴を掘るために特化した前脚を持つニッポンハナダカバチや速く跳ねるための特別な後脚を持つノミバッタなど身近なところにも究極の形態を持つ昆虫がたくさんいます。

昆虫は外骨格だからこそ、その機能に直結する形態を見つけやすいという特徴があります。今回の企画展で紹介するのは昆虫の多様な形態と機能のしくみに今以上に昆虫の形態をよく観察してみてください。きっと面白い発見につながると思います。



クマバタ (クマ目)

Oedaleus infernalis

バッタは比較的体の作りが見えやすくなっています。それでも中胸、後胸が短く、分かれ目はよく見ないとわかりません。なおクマバタは後翅の黒い筋模様が車輪のように見えることから、この名がつけました。



オオクワガタ (甲虫目)

Dorcus hopei

甲虫は中胸より後ろがたくなった前翅に覆われているので見えません。お腹側から見ても中胸、後胸、腹部が合わさっているように見えます。



ヘビトンボ (ヘビトンボ目)

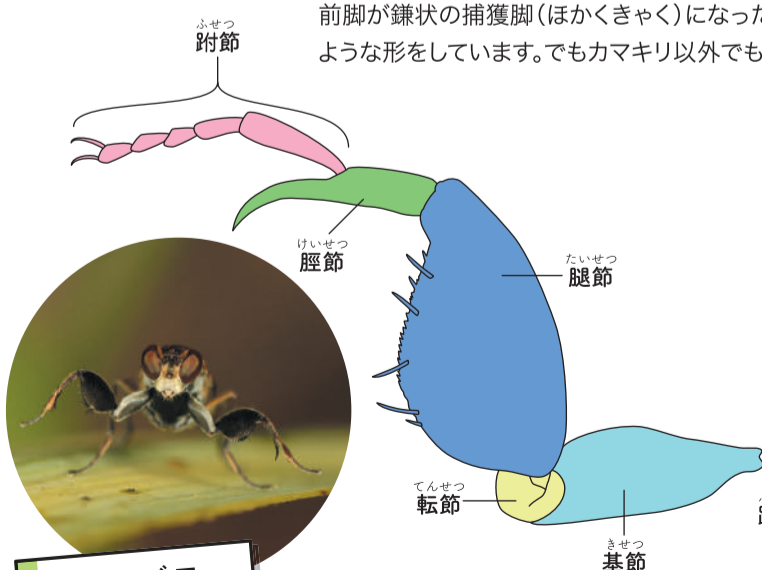
Protohermes grandis

ヘビトンボの仲間は体の作りがとてもしっかり昆虫です。まるで教科書のように頭・胸・腹のそれぞれがよく見え、前胸に前脚、中胸に中脚と前翅、後胸に後脚と後翅がついているのがわかります。

Topics

鎌脚 (かまあし) を持つ昆虫たち

前脚が鎌状の捕獲脚(ほかくきやく)になった昆虫といえばカマキリが有名です。これは獲物をとらえるためにこのような形をしています。でもカマキリ以外にもこのような前脚を持つ昆虫がいます。

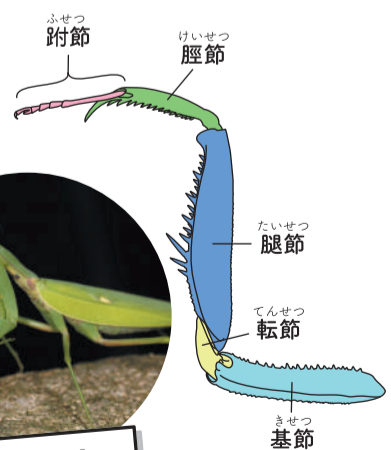
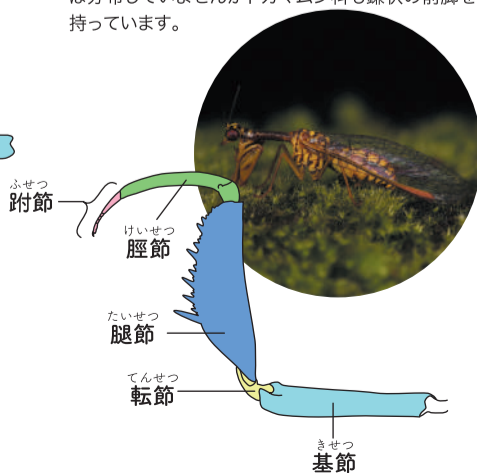


カマバエ

ハエ目ミギワバエ科のカマバエの仲間も捕食性で鎌脚を持っています。箕面に分布しているのはミナミカマバエ (*Ochthera circularis*) です。体長は4~5mmほどで、田んぼの脇や池の縁のようなところで小さな昆虫などを捕まえてくれています。

カマキリモドキ

アミメカゲロウ目のカマキリモドキ科もカマキリのような前脚を持っています。カマキリと違うところは、脛節のトゲが長く発達しないことです。他には日本には分布していませんがトガマシ科も鎌状の前脚を持っています。



カマキリ

カマキリ目の前脚は脛節と腿節が鎌のようになっていて、これで獲物を挟み込んで捕まえます。脛節と腿節のどちらにも内側にトゲがあって、さらに脛節の先は尖っているのも特徴です。



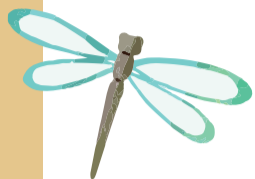
秋も冬も昆虫館は亜熱帯!?

昆虫は寒さが苦手な生き物です。そんな昆虫たちを展示しているのだから、寒い時期の昆虫館では生きた昆虫を見ることは出来ないと思いませんか？

昆虫館は常夏の世界、一年を通して
元気な昆虫たちがみなさんをお出迎えます！



放蝶温室はもちろん、館内には一年を通していろんな昆虫を展示しています。昆虫館では、亜熱帯に棲む昆虫に多く見られる「休眠しない(※条件次第では休眠します)」という特性を利用したり、日長(昼間の長さ)調整によって休眠をコントロールしたりすることで、真冬でも元気な昆虫たちをご覧いただけるように努めています。



タテハモドキ
(チョウ目 タテハチョウ科)

Junonia almana

オレンジ色の翅表に目玉模様が宇宙のように美しい南国を代表するチョウ。秋型では裏面が枯葉そっくりになる。

オオゴマダラ
(チョウ目 タテハチョウ科)

Idea leuconoe

南西諸島に生息する日本最大級のチョウ。紙切れが舞うようにふわふわとゆっくり飛ぶ。



リュウキュウムラサキ
(チョウ目 タテハチョウ科)

Hypolimnas bolina

オスは前翅、後翅の中央に光沢のある青紫色で縁取られた白斑が1つずつある。角度によって輝きが違って見える。



冬でも見ることができる昆虫のコーナー



ヒメフチトリゲンゴロウ
(コウチュウ目ゲンゴロウ科)

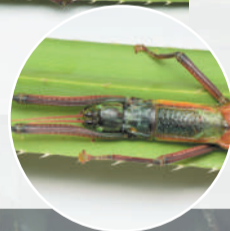
Cybister rugosus

南西諸島から東南アジアにかけて分布する大型のゲンゴロウ。国内の生息地では近年、数を減らしている。

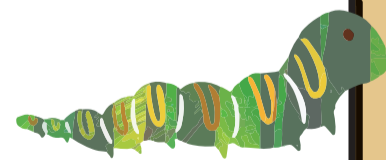
ツダナナフシ
(ナナフシ目ナナフシモドキ科)

Megacrania tsudai

宮古島、石垣島、西表島から台湾に分布するナナフシ。驚かせると胸部からミント臭のする刺激性の液を飛ばして反撃する。



冬越しする昆虫図鑑



厳しい冬を昆虫たちはそれぞれのスタイルで乗り越えます。そんな冬越しの昆虫たちを探してみませんか？



コムラサキは幼虫で冬を越します。越冬幼虫は木の皮の色にとっても似ており、大きさも1cm程度しかありません。そんな幼虫が食樹であるヤナギの樹皮にまぎれると見つけるのは大変難しいです。難しいからこそ楽しい、そんな冬の宝探しをしてみませんか？



アゲハ類は秋から翌年の春まで蛹で過ごします。寒い屋外で過ごしているのを見かけると可哀相に思えますが、実は越冬蛹は寒さに耐えられるよう体の中を作り変えているのです。春に美しい成虫の飛ぶ姿を見られるのが今から待ち遠しいですね。

EVENT

みのおこうえん自然観察会

箕面公園では野外での自然観察会を不定期で開催しています。冬の観察会も開催予定。開催日時や内容については箕面公園のホームページでご確認を。

<http://www.mino-park.jp/>
(主催：箕面公園管理事務所)



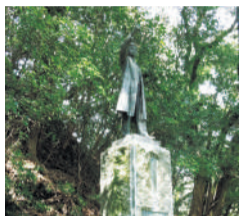


箕面公園昆虫館は箕面公園内にあります

自然豊かな箕面公園も一緒に楽しみませんか？

①みのお大滝

公園の入口である一の橋を渡り、楓のトンネルや杉木立の中を溪流に沿って滝道を2kmほど歩くと、「日本の滝百選」に選ばれた高さ33mのみのお大滝(箕面大滝)に至ります。



②野口英世像

世界の医聖といわれている野口英世博士は、大正4年(1915)米国留学から帰国した際、待ちわびていた母を伴って箕面に来遊されました。それにちなみ博士の生前の偉業をたたえ、昭和30年(1955)11月に銅像が建立されました。

③望海展望台

急峻な展望道を登りつめると、視界が一気に広がり爽快な気分になります。天気の良い日には、ここから大阪湾を一望のもとに見渡せますよ！



④瀧安寺

658年飛鳥時代、役行者が箕面寺を建立したのが始まりといわれ、山岳信仰修験道の根本道場として、大護摩法要(毎年4・7・11月)が行われます。本堂の弁財天は、江の島、琵琶湖竹生島、宮島とともに日本四弁財天の一つです。また、宝くじ(富くじ)発祥のお寺としても知られています。



箕面公園昆虫館

箕面公園 秋のライトアップ

箕面大滝ライトアップ

期間：10月16日(土)～11月14日(日)
時間：17:00～20:00



紅葉ライトアップ

場所：昆虫館前～瀧安寺
期間：11月13日(土)～11月23日(火・祝)
時間：17:00～20:00



ご注意とお願い

- ゴミは各自で持ち帰ってください。
- 公園内は火気厳禁です。焚き火・バーベキューなどはできません。
- 公園内は一般車両(自転車含む)の乗り入れはできません。
- 草花や木を採らないでください。
- サルやイノシシなど野生動物にエサを与えないで下さい。

感染防止対策にご協力願います。

● 入館者の「人数制限」と「見学時間の制限」をおこないます

※再入館はできません。 ※予約はできません。

詳しくは、箕面公園昆虫館HPでご確認ください。 <http://www.mino-konchu.jp/>

- 中止：「ふれあい体験」など館内イベント
- 館内一部コーナーや設備の利用制限があります
- 入館時、見学時はマスクの着用をお願いします。 ● 検温にご協力をお願いします。

◎換気設備常時運転、排煙窓など開放する等の換気をおこないます。 ◎館内の定期的な消毒活動をおこないます。
◎スタッフはマスク着用、距離をとっての接客とさせていただきます。



屋外でも感染予防をしっかりと

マスクを着用する、お互いの距離をあけるなど感染予防対策をしっかりと行っただけで、箕面公園および箕面公園昆虫館をお楽しみください。



箕面公園昆虫館の利用案内

- URL** <http://www.mino-konchu.jp>
- 所在地** 〒562-0002 大阪府箕面市箕面公園1-18 TEL.072-721-7967
- 開館時間** 午前10時00分から午後5時00分(入館は午後4時30分まで)
- 休館日** 火曜日が休館(祝日のときは開館し、翌平日が休館)・年末年始(12/29～1/3)
※11月は火曜も開館
- 入館料** 大人 280円、中学生以下無料、団体(有料入館者30名以上) 1名 200円
※障がい者手帖をお持ちの方、およびその介護者1名 無料
- 交通機関** 阪急宝塚線 石橋阪大前駅で箕面線に乗り換え箕面駅へ、千里中央駅から阪急バスで箕面駅へ

● 箕面市立駐車場をご利用ください。箕面公園昆虫館には駐車場がありません(公園内、一般車両乗り入れ不可)

発行：箕面公園指定管理者 メイプルハーツ企業共同体

